



基山駅での手すりと壁ふきの様子。  
『ありがとう』と声をかけられると自信が付きます。



鳥栖市役所での販売の様子 地域のみなさんに覚えてもらって、リピートのお客さんがかなり増えました。

「NPOわかば」では、希望者を対象に毎月工賃から3000円ずつ天引き貯金をしています。今ではほとんどの利用者さんが、いっしょに郵便局へ行って、もしもの時に備えて、自分の口座に貯金しています。設立当初から通っている利用者さんは、数十万円貯まっています、生活の基盤になっています。

「NPOわかば」のモットーは『感謝』支えてくださるみなさんに感謝、両親に感謝、社会に感謝。そしてこちら資源回収や清掃活動、イベント参加などで、社会や地域のみなさんにできるかぎり協力して、おたがいに支えあえる共生社会を目指して頑張っています。職員のモットーは『目配り・気配り・心くばり』 難しいですが、職員同士、声をかけ合って、みんなの自立をそっと支えています。



「NPOわかば」は平成8年の設立から今年で20年を迎え、2名でスタートした施設も、今では27名で活動するようになり、利用者に応じた様々な支援が必要となってきました。

両親が他界されて生活の基盤を失ったり、親亡き後の本人さんの生活を心配されるケースが増えて参りました。このほかにも自身で行政手続きができなかったり、金銭管理が難しい、体調管理ができなかったり、自分で通院することが難しいなど、多岐に渡ります。そのなかで、平成24年に地域に生活の場を確保するためにグループホーム『わかばホーム』を開所し、就労の支援だけでなく、地域に根ざした生活環境の提供が行えるようになりました。



地元で作ったグループホーム  
『わかばホーム』

これにより利用者は安心して日々の生活を送ることができるようになり、仕事にも精一杯取り組めるようになりました。今後も地域とより関わりを持ちながら、障がいのある人たちが地域で自立した生活が送れるように、工賃アップ、障害者理解促進、共生社会の実現を目指して頑張っていきたいと思っています。